

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	30-1
PDCA	主要事業名	乙川中学校改築等事業	部課名	教育部学校教育課	担当	杉浦	
					内線	517	
P	総合計画： 1 - 1 - 3 単位施策： 義務教育 全体事業期間： 令和 元 年度 ～ 5 年度 全体事業費等： 4,465,569 千円						目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用
	会計 一般会計 歳出科目： 09.03.03.02.50						
	事業概要等	事業概要： 乙川中学校の全ての校舎（南棟・中棟・北棟）及び柔剣道場の改築（建替え）を行う。現グラウンドに建設し、既存校舎跡をグラウンドにする。校舎及び柔剣道場を令和3年度から令和4年度に、グラウンド整備を令和5年度に行う。					
		事業目的： 老朽化した学校施設を計画的に更新し、教育環境の向上を図る。					
		事業内容： 老朽化した学校施設（全校舎・柔剣道場）の改築を行う。					
		問題点・ 全ての学校施設の老朽化等を踏まえ、学校に求められる機能を確保しつつ、課題等： ライフサイクルコストの削減や予算の平準化を図ることが必要である。					
	予算額	主要事業とする理由					
	694,638 千円	老朽化した公共施設の更新等による財政需要の増大が見込まれることから、学校に求められる機能を確保しつつ、限られた財源の中で計画的に施設更新を行うことが必要なため。					
	財源内訳	得られる成果					
	市費	全体的な学校施設の更新を行うことで、生徒の安全安心の確保とともに教育環境の向上が図られる。					
	145,906 千円						
	国費						
	68,732 千円						
	県費						
	0 千円						
その他							
480,000 千円							
D 値得られた成果と実績	決算額	得られた成果					
	562,787 千円	旧校舎等の解体工事及びグラウンド整備等が完了し、教育環境を向上させることができた。					
	成果指標					令和5年度	単位
	校舎等改築工事進捗率	実績値	100.0		%		
		目標値	100.0		%		
C 課題の整理	事業の評価・課題	B 旧校舎等の解体工事及びグラウンド整備等を完了させ、予定どおり供用開始することができた。					
A 今後の課題の解決に向けた	今後の事業の方向性	終了					
	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減余地	ない		
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ない	⑧受益者負担適正化余地	ない		
		③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない				

評価項目（決算時に作成）
主要施策の成果報告書で活用